

【見積参考資料】過年度ストマネ調査について

○1 業務あたりの調査項目と数量の例

・業務 A

近接目視を中心とした調査、劣化度を判定するためのデータ収集を行う			
作業項目	対象施設	数量	作業内容
現地踏査	開水路	73m	・事前調査で得られた情報を参考に、対象施設全体を巡視し、劣化状況を概括的(変状等を目視、簡易器具による測定、カメラによる撮影記録等)に変状状況(現象・位置及び範囲)を記録し、定点調査地点及び調査項目等を検討選定する。調査地点は調査単位の代表となる地点を選定する。
	開水路	227m	
近接目視 (定点調査)	開水路	73m	・現地踏査により決定した調査地点において、目視や簡易な器具によりひび割れ幅・延長を測定し、摩耗、沈下、変形、材料劣化、周辺の状況を定量調査し、変状展開図の作成を行う。損傷種類の表示は統一し、個人差がでないように、追跡調査が活用できるよう留意する。
	開水路	227m	
コンクリート強度推定調査	定点調査実施箇所	2測点	定点調査箇所においてコンクリートの表面をリバウンドハンマーによって打撃し、反発度を測定することで、強度を推定する。
中性化深さ調査 (ドリル法)	現地踏査により選定された箇所	2箇所	コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。 (NDIS3419)

・業務 B

項目	業務数量		備考
	計画	実施	
路線測量			
作業計画	1業務	1業務	
現地踏査	0.21km	0.21km	
中心線測量		0.21km	
縦断測量	0.21km	0.21km	
横断測量	0.21km	0.21km	
幹線水路点検			
現地踏査	1.3km	1.1km	
近接目視	12,000㎡	5,500㎡	水位低下が困難なため
中性化試験		5箇所	
圧縮強度試験		5個	
幹線水路機能診断	1.3km	1.1km	

・業務 C

表 1.2.1 業務対象施設諸元

施設名称・ 対象構造物	施設延長（規模）		備 考
	構造物の規格・規模等	数量	
トンネル			
トンネル	鉄筋コンクリート造 標準馬蹄形 2R＝3.4m 総延長 0.8km	0.8km	勾配 ＝1/2, 100
トンネル			
トンネル	鉄筋コンクリート造 標準馬蹄形 2R＝3.4m 総延長 1.8km	0.3km	勾配 ＝1/2, 100
揚水機場（吸・吐水槽）			
土木構造物		1 式	
分水工（導水路、分水槽、越流堰）			
土木構造物		1 式	
サイホン			
サイホン	鋼管 φ2800mm	146m	
サイホン			
サイホン	鋼管 φ2800mm	266m	
ダム緊急放流バルブ室			
土木構造物		1 式	
ダム制水バルブ室			
土木構造物		1 式	

表 1.3.1 業務対象施設調査項目

項 目	数 量	備 考
トンネル内面調査(レザ-スキャン法)	1.1km	トンネル、トンネル
トンネル内面調査(レザ-探査法)	1.1km	トンネル、トンネル
サイホン内面調査(鋼管)	1 式	トンネル、トンネル
コンクリート劣化調査	1 式	トンネル、揚水機場・分水工、 ダムバルブ室、ダムバルブ室
調査結果とりまとめ	1 式	
劣化評価	1 式	
対策工法の検討	1 式	

○変状展開図の例(開水路)



